

きらり



No.1

* 一人一人が輝くために *

2011. 7. 20 新田中学校

いよいよ明日から夏休みに入ります。それぞれの学年にとって貴重な休みです。時間を有効に使い有意義な夏休みにしていきましょう。

さて、本年度も特別支援教育について理解と啓発を目的に、一人一人が輝くための情報発信として「きらり」を発行します。今回の第1号では、特別支援教育の概要についてお知らせします。

40人中2～3人

この数字、実は小・中学校の通常の学級の中の学習や生活の面で特別な支援が必要な児童生徒の数です。そして、LD^(※1)、ADHD^(※2)、高機能自閉症^(※3)が、約6%程度の割合である可能性があることが文部科学省の調査で明らかにされています。

つまり40人学級の中に2～3人在籍していることになります。ですから、「特別支援教育」は決して他人事ではなく、身近な話題として考えていく必要があります。

- | | | |
|--------|---------------|--|
| ① LD | 【学習障がい】 | (Learning Disabilities) |
| ② ADHD | 【注意欠陥/多動性障がい】 | (Attention Deficit/Hyperactivity Disorder) |
| ③ HFA | 【高機能自閉症】 | (High Function Autism) |
- 【※①～③について】裏面もご覧ください

「みんな違って、みんないい」

詩人・金子みすずさんの「私と小鳥と鈴と」という詩をご存知の方もいらっしゃると思いますが、特別支援教育の考え方の基本は「みんな違って、みんないい」なのです。

なぜなら、特別支援教育は、生徒一人一人の個性や違いを認めた上で、一人一人に対する適切な支援を行なう必要があるからです。そのために、教育的ニーズは何であるかをしっかりと把握し、持っている能力を高めるために適切な支援を行っていきます。

こう考えると、特定の生徒だけでなく全ての生徒を対象にした教育と言えます。

私と小鳥と鈴と

私が両手をひろげても	お空はちっとも飛べないが
飛べる小鳥は私のように	地面を早くは走れない。
私が体をゆすっても	きれいな音は出ないけど
あの鳴る鈴は私のように	たくさんな唄は知らないよ
鈴と小鳥とそれから私	みんなちがってみんないい



特別支援教育」は、新田中学生徒全員に向けて行う取り組みです。

第1号はいかがだったでしょうか。本校では、一人一人のニーズにあった指導の充実、校内支援体制の整備を進めています。『特別支援教育』の意義やねらいにご理解いただくとともに、お子さんの気になる点などがありましたら、小さなことでもかまいませんので、担任、もしくは特別支援教育コーディネーター高岡までご相談くださるようお願いいたします。

電話 33-1015 (新田中学校)

返信欄



